

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-3-15	事務事業名 敬老祝金贈呈事業	所管部課 保健福祉部高齢福祉課
---------------	-------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 高齢者に対し、「敬老の日」の行事の一環として、敬老と長寿を祝うため、敬老金を贈呈する。	総合計画上の位置づけ
	実施内容、実施方法 市内に住所を有する9月15日現在70・77・88・95・100歳の方で70・77・88歳の方10,000円、95歳の方20,000円、100歳の方50,000円を原則として100歳の方以外は民生委員が各家庭を訪問し贈呈する。	根拠法令等 西東京市敬老金支給要綱
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 敬老金の贈呈対象者数	活動指標の考え方(定義) 敬老と長寿をお祝いする対象者。
	成果指標名 敬老金を受領した人数	成果指標の考え方(定義)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		35,870	38,730	39,120	42,560	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		35,870	38,730	39,120	42,560	
	所要人員(B)	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,474	2,482	2,498	2,498	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	38,344	41,212	41,618	45,058	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(敬老金の贈呈対象者数)	千円	11	11	11		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	人			4,094	4,081
		実績値	人	3,491	3,771	3,799	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	人			4,094	4,081	
	実績値	人	3,491	3,771	3,785		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	市民より財政的な負担が大きいので廃止すべきだという意見を何件かいただいている。
	国・都・他市・民間等における類似事業	敬老祝金品、健康管理手当の贈呈
	運営上の制約条件・外部要因等	

コード 6-3-15	事務事業名 敬老祝金贈呈事業	所管部課 保健福祉部高齢福祉課
---------------	-------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	敬老と長寿を祝うため民生委員が対象者宅を訪問し、たくさんの方をお祝いしていると共に地域の高齢者の把握に成果を上げている。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input checked="" type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	高齢者人口が年々増え財政的に負担が大きい。他市の状況からみても年齢の引き上げや金額の見直しがおこなわれている。(青梅市・小平市・国立市・清瀬市・多摩市)
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	対象者が年々増える一方、民生委員の減少に伴い自宅訪問や、窓口受け取り・口座振込み希望者への対応など、かなりの時間がかかっている。また、年々対象者が増えているため財政的にも負担が大きい。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	該当年齢のすべての方に対してに贈呈している。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	受給資格年齢に問題がある。平均寿命が伸びているなかで、長寿を祝うと言う趣旨から70歳代が長寿に該当するのか疑問である。他市も年齢の引き上げを実施している。(東京都福祉保健局高齢社会対策部 平成16年度区市町村における高齢者福祉施策単独事業一覧より)

17年度における改善点	対象年齢70歳代廃止、現金支給の見直しも今後必要課題
-------------	----------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	26市の状況や所管部における評価を踏まえ検討した結果、70歳及び95歳への支給を廃止する。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象者に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。